

2017年11月現在



LEXUS 3T5

補修塗装工程

クロマックス® センタリ6000/600

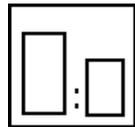
ボカシ塗装

AN AXALTA COATING SYSTEMS BRAND

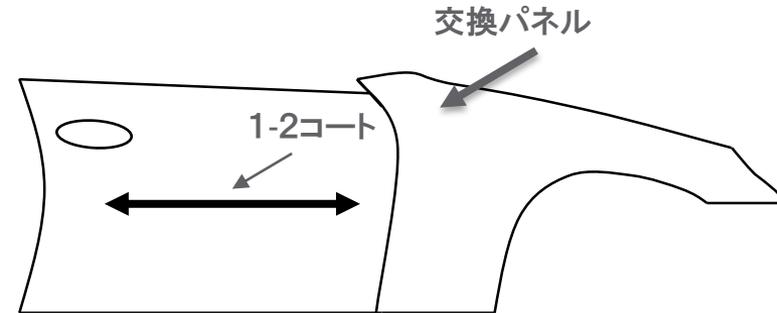
トヨタ 3T5 補修塗装工程 クロマックス® センタリ6000/600 ベースコート 塗装



ミッドコート塗装



クロマックス®ベースコート ミッドコート
【6000】XB165:JAB/JXBシンナー = 2 : 1
【600】AB160:JAB/JXBシンナー = 1 : 0.8



エア圧: 2バール 口径: 1.2-1.4mm
ガン距離: 10-15cm パターン重ね: 70%
隣接パネルのボカシ周辺にミッドコート1-2回ミディアムウエット塗装。



コート間及び最終フラッシュタイム: 艶が消えるまで

注意: ・必要に応じてタッククロスでオーバーミストを丁寧に除去する

トヨタ 3T5 補修塗装工程 クロマックス® センタリ6000/600 ベースコート 塗装



カラーベース塗装



クロマックス®ベースコート 3T5カラーベース
BK220 BCチッププロテクター10%混合
【6000】 JAB/JXBシンナー: 40-50%
【600】 JAB/JXBシンナー: 80%



エア圧: 1.8-2バール 口径: 1.2-1.4mm

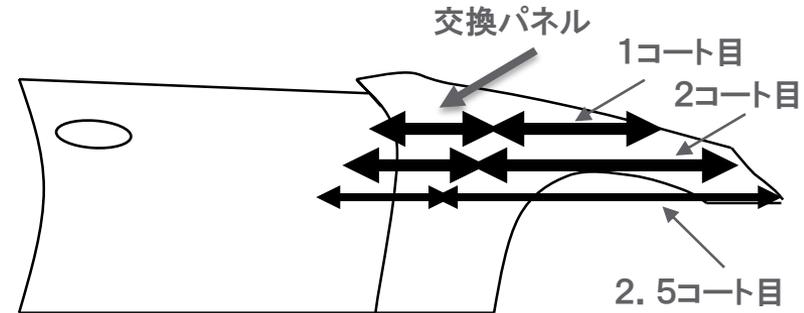
ガン距離: 10-15cm パターン重ね: 70%

交換パネル側から2.5コートボカシ塗装。各コートは前のコートより広げていく。

※色決め部分とボカシ際部分とで色差がある場合は、その箇所をエア圧を落としてライトコートで修正する



コート間及び最終フラッシュタイム: 艶が消えるまで

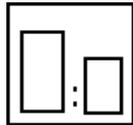
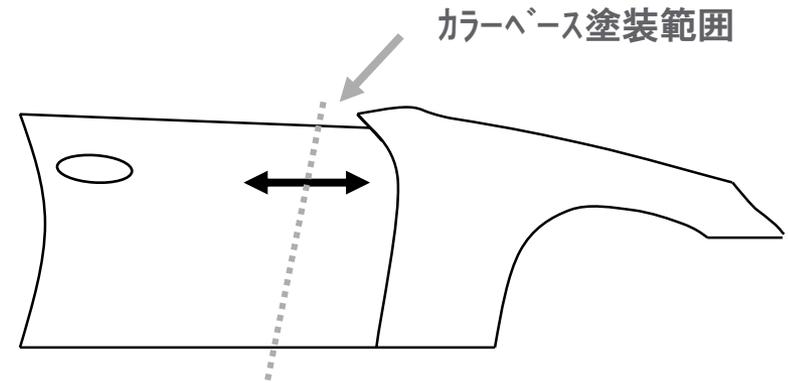


- 注意:**
- ・オーバースプレーを避ける為、スプレーガンをボカシ側へ向けない様に塗装する
 - ・ガン距離を近くし、スプレーガンをボカシ側へ引く様に塗装する
 - ・必要に応じてタッククロスでオーバースプレーを丁寧に除去する
 - ・補修箇所は必ずバリューシェードシステムを使用
 - ・BK220を添加した場合、艶が残ります。指触で乾燥状態を判断して下さい
 - ・3T5は塗膜構造上、塗装回数が増える為、十分に各工程で乾燥させて下さい
 - ・必要に応じて、ミッドコート塗装前に隣接パネルをマスキング、交換パネルを色決め塗装後、ミッドコート、カラーベースボカシ塗装をする

トヨタ 3T5 補修塗装工程 クロマックス® センタリ6000/600 ベースコート 塗装



ニゴリカラー塗装



ニゴリカラー
希釈済みパールベース：希釈済みカラーベース = 100：5～10



エアー圧：1.5バール以下 口径：1.2-1.4mm
ガン距離：15-20cm、パターン重ね：70%
カラーベースのボカシ際部分に1-2コート塗装



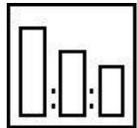
コート間及び最終フラッシュタイム：艶が消えるまで

- 注意：
- ・オーバースプレーを避ける為、スプレーガンをボカシ側へ向けずに塗装する
 - ・ガン距離を近くし、スプレーガンをボカシ側へ引く様に塗装する
 - ・必要に応じてタッククロスでオーバーミストを丁寧に除去する
 - ・3T5は塗膜構造上、塗装回数が増える為、十分に各工程で乾燥させて下さい

トヨタ 3T5 補修塗装工程 クロマックス® センタリ6000/600 ベースコート 塗装



パールベース塗装



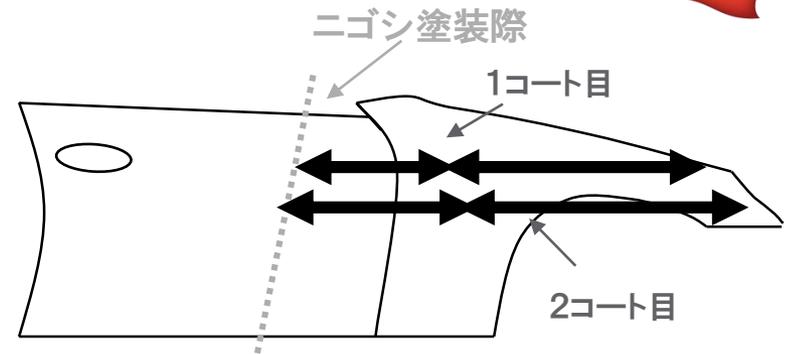
クロマックス®ベースコート 3T5パールベース
BK220 チッププロテクター10%混合
【6000】JAB/JXBシンナー: 40-50%
【600】JAB/JXBシンナー: 80%



エア圧: 1.8-2パール 口径: 1.2-1.4mm
ガン距離: 10-15cm、パターン重ね: 70%
交換パネル側から1-2コートボカシ塗装。各コートは前のコートより広げていく。



コート間及び最終フラッシュタイム: 艶が消えるまで



- 注意:
- ・オーバースプレーを避ける為、スプレーガンをボカシ側へ向けずに塗装する
 - ・スプレーガンをボカシ側へ引く様に塗装する
 - ・パールベースボカシ範囲は、ニゴシ塗装際と同じ範囲、もしくは僅かに超える範囲にする
 - ・必要に応じてタッククロスでオーバーミストを丁寧に除去すること
 - ・BK220を添加した場合、艶が残ります。指触で乾燥状態を判断して下さい
 - ・3T5は塗膜構造上、塗装回数が増える為、十分に各工程で乾燥させて下さい

トヨタ 3T5 補修塗装工程

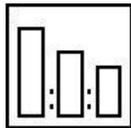
クロマックス® センタリ6000/600 ベースコート 塗装



パールベースボカシ際

クリアーコート塗装

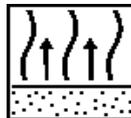
(カラークリアーコート塗装の前に通常のクリアーコートを塗装)



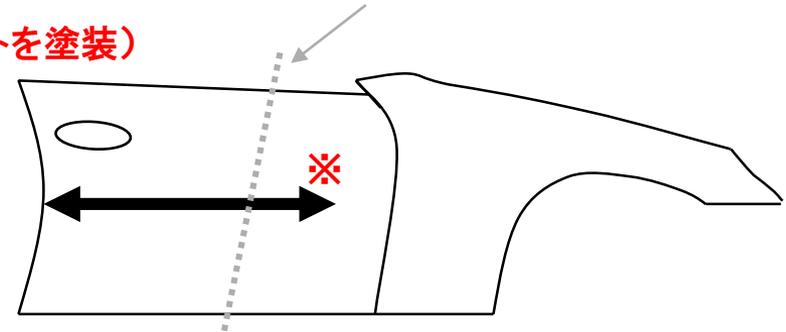
クロマックス® クリアーコート
混合比は各クリアーTDS参照



エア圧: 2パール 口径: 1.2-1.4mm
ガン距離: 15-20cm、パターン重ね: 70%
ボカシ部分の外側からパールベースボカシ際を若干越えて1コートボカシ塗装



コート間フラッシュタイム: なし



※重要: クリアーコート塗装はパールベースボカシ範囲を超えて均一に塗装し、次に塗装するカラークリアーの肌が平滑になるように注意する

トヨタ 3T5 補修塗装工程 クロマックス® センタリ6000/600 ベースコート 塗装



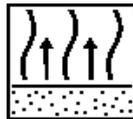
カラークリヤーコート塗装 (カラークリヤーはクリヤーコートと同じクリヤー使用)



クロマックス® 3T5カラークリヤーコート
混合比は各クリヤーTDS参照



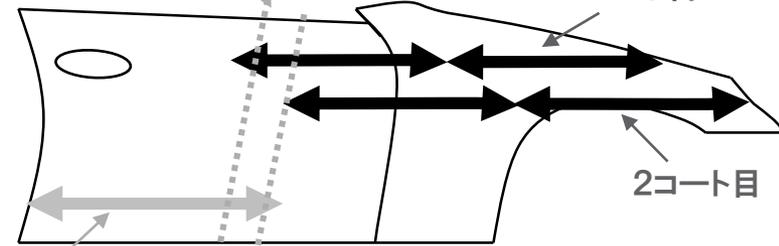
エア圧: 2パール 口径: 1.2-1.4mm
ガン距離: 15-20cm、パターン重ね: 70%
交換パネル側からパールベースボカシ際を若干越えて1コートボカシ塗装
2コート目はカラーベースボカシ際と同じ範囲に1コートボカシ塗装
トリガーは常に握り ボカシ部に向けて弧を描くように塗装



コート間フラッシュタイム: 各クリヤーTDS参照

パールベースボカシ際

1コート目



2コート目

クリヤーコート塗装範囲

カラーベースボカシ際

- 注意:
- ・カラークリヤーのムラが発生し易い為、ガン距離を余り近づけて塗装しない
 - ・次に塗装するクリヤーコートの肌が平滑になるように、カラークリヤー2コート目塗装後のフラッシュタイムは取らない

トヨタ 3T5 補修塗装工程

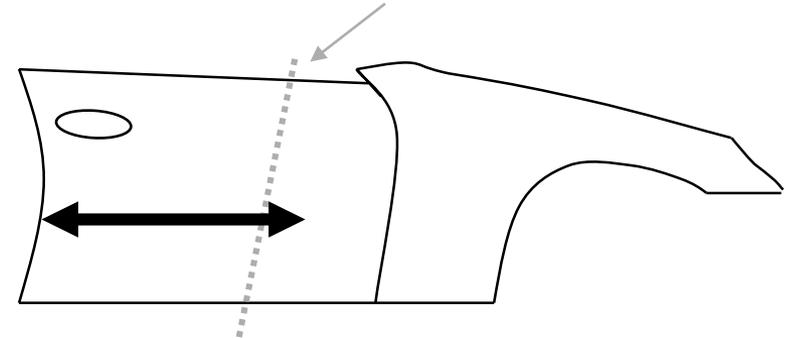
クロマックス® センタリ6000/600 ベースコート 塗装



クリヤーコート塗装

(カラークリヤーのボカシ箇所をクリヤーにて均一に
馴染ませ肌を平滑にする。)

カラークリヤーボカシ際(2コート目)



クロマックス® クリヤーコート
混合比は各クリヤーTDS参照



エア圧: 2バール 口径: 1.2-1.4mm
ガン距離: 15-20cm、パターン重ね: 70%
ボカシ部分の外側からカラークリヤーボカシ部を馴染ませる様に1コートボカシ塗装



最終フラッシュタイム: 各クリヤーTDS参照



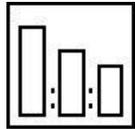
乾燥: 各クリヤーのTDS参照

- 注意:
- ・カラークリヤーボカシ部と完全に馴染む範囲まで塗装する
 - ・乾燥後は、P1500相当で軽くサンディングを行う事
(カラークリヤー部の色味が変化する為、必要以上にサンディングしない事)

トヨタ 3T5 補修塗装工程 クロマックス® センタリ6000/600 ベースコート 塗装



新耐スリ傷性向上クリヤーコート塗装



クロマックス® 新耐スリ傷性向上クリヤーコート
混合比はクリヤーTDS参照



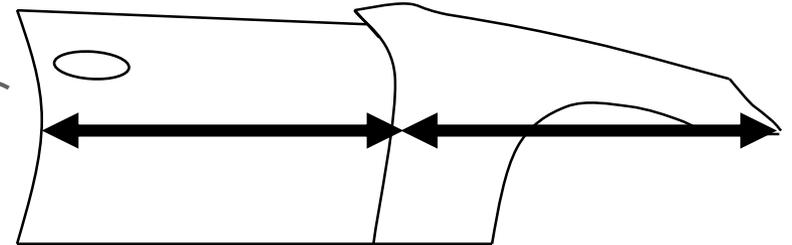
エアー圧: 2バール 口径: 1.2-1.4mm
ガン距離: 15-20cm、パターン重ね: 70%
パネル全体に1コート塗装



最終フラッシュタイム: TDS参照



乾燥: TDS参照



注意: ・最終フラッシュタイムは十分にとること

SHINE ON.

CROMAX IS AN AXALTA COATING SYSTEMS BRAND

